

講習会に係る新型コロナウイルス(COVID-19)関連ガイドライン

【講習会申込みに際し】

- ①講習期間中はマスク又はフェイスシールドの着用、手指の消毒等、感染防止の徹底にご協力いただきます。したがって、相互の感染防止に努めていただけない方のお申込みはご遠慮いただきます。
※講習会場にはアルコール消毒液を設置しておりますが、アルコール消毒ができない方はご自身で代用消毒薬の持参が必須となります。
- ②講習会参加の予定がある方で次回ワクチン接種券をお持ちの方は、可能な限り接種してからご来場下さいませよう、お願い申し上げます。
- ③申込み入金後に「感染した」、「濃厚接触者となった」等、感染関連事情による受講を次回以降に開催する講習会へ振替えることは可能ですが、振替は1人1回限りとさせていただきます。なお、振替は年度内に限り有効となりますため、年度末に近い講習会への申込みの際は注意くださいますようお願い申し上げます。
- ④入金後の申込みキャンセル及び途中で受講できなくなった場合による返金対応は致しません。慎重にご検討のうえ、入金締切日までにご入金頂きますようお願い申し上げます。

【講習会へ参加するにあたり】

- ①発熱、咳、嗅覚・味覚障害等の症状がある方は受講することはできません。
- ②講習参加前2週間以内に発熱等の体調不良となった方でPCR検査又は抗原検査にて陰性の確認がとれない方は受講できません。
- ③講習参加前2週間以内に「濃厚接触者」又は「濃厚接触者の可能性がある」となった方は受講できません。
- ④講習会受付時に行う、問診票未記入及び問診票虚偽記載が発覚した方は受講できません。
- ⑤感染防止のため、事務局員の要請に協力いただけない方は受講できません。

【講習会開催期間中】

- ①毎日、来場時に体温を計測させていただきます。体温が37.5度以上ある方、37.5度以下でも事務局が聞き取りを行い、参加を見送るべきとの判断をした方は受講することはできません。また、37.0度以上37.5度未満の体温の方については、講習の途中で複数回検温を行い、経過観察を実施します。これは受講生に限らず、事務局員、講師、考査員、考査補助員にも適用します。
- ②休憩時間及び考査待機時間等に講習会場内で複数名が集まり会話することはご遠慮ください。
- ③学科講習は、原則1名掛け又は1名掛けと2名掛けを交互に配置するレイアウトで着席していただきます。
- ④実技講習は、各科目で訓練教材を使用する際に手の消毒を行っていただきます。
- ⑤換気のため、原則、講習会場入口のドアは終日開放します。窓の開閉が可能な講習会場については、休憩時間等に定期的に窓を開けて換気を行います。したがって、受講される皆様におかれましては体温調整が可能な服装を準備して下さい。
- ⑥講習期間中に体調不良になった方は症状にかかわらず、速やかに講師又は事務局にお申し出下さい。事務局で総合的に判断し受講を中止していただく場合がございます。

【感染者発生想定】

講習会開催期間中に発熱等感染の疑いがある受講者（以下「当事者」という）は直ちに参加を中止し帰宅していただきます。また、他の受講者への影響を鑑み、当事者に対して速やかに自費でPCR検査を受け、結果についても連絡していただくよう、要請します。



当事者の所属会社へ連絡、現在の状況及び今後の対応等について連絡をします。
当事者周辺に着席している方の所属会社へ「これから本人同意のうえ、抗原検査を実施する」旨の連絡をします。



原則、当事者の感染結果が判明するまでは講習会を続行するものとしませんが、当事者周辺に着席していた方（4～6名）に対しは、直ちに事務局で用意した抗原検査（無償）を実施させていただきます。
その他、自己都合で抗原検査を受けたい方へは有償（¥3,300）で抗原検査キットを提供します。



当事者が PCR 検査にて「陽性」と判定された場合及び当事者周辺に着席していた方の抗原検査にて「陽性」と判定された方がいた場合は、その時点で一旦講習会を中断させていただき全員帰宅していただきます。



改めて、講習会場及教育資機材等の消毒作業を実施します。
講習会再開前に事務局員、講師、考査員、考査補助員へ PCR 又は抗原検査を実施します。



講習会を一時中断したことによる残りのカリキュラムについては、中断した日から 14 日以上経過後に改めて講習を再開させていただきます。(追加の講習費用は不要)
注) 中止、延期に伴う交通費、宿泊費等の負担及び途中辞退による返金はいたしません。

以上の対応は、新型コロナウイルス感染状況及び講習会場の運用都合により、強化又は緩和等、変更をする場合がございますことを予めご了承下さいませよう、お願い申し上げます。